

# 児童養護施設や 里親のもとで育つ 子どもたち

シンポジウム

■ 「みんなで知ろう！ こどもの権利と私たちの役割」

相澤 仁 (大分大学福祉健康科学部 特任教授)



■ 「児童養護施設での生活と、心理職として生活の中で関わること」

松下 大介 (社会福祉法人愛隣会 児童養護施設 目黒若葉寮)

■ 「“親代わり” という呪い ～中途養育の先にあるもの～」

宇田川 里紗 (認定こども園園長／養育家庭里親)



司会：上別府 圭子 (子どもと家族のQOL研究センター代表理事)

日時

2025. 4/27 (日) 13:30～16:00

会場

Zoomオンライン開催 (予約制)



## 開催概要

当センターでは、子どもの虐待の予防や支援について、学ぶ会を開催しています。今回のシンポジウムでは、さまざまな事情により児童養護施設や里親の元で育つ子どもたちの、権利を守る活動に取り組んでおられる3名のシンポジストをお迎えします。お三方は、児童養護施設でのケアワーカーや心理士として、あるいは里親として、子どもたちの成長をサポートしていらっしゃいます。自身のご苦労や喜びを含め、子どもたちの生活や成長の特徴について教えていただくと共に、今後の課題について、皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

## シンポジスト



### 相澤 仁 (大分大学福祉健康科学部 特任教授)

埼玉県出身。立教大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程満期退学。国立武蔵野学院長を経て、2016年より大分大学福祉健康科学部教授。現在は、山梨県立大学および大分大学にて特任教授。専門は、子ども家庭福祉と非行臨床。1982年から約30年間、児童自立支援施設にケアワーカーなどとして勤務。子どもたちと寝食をともにする生活を重ねてきた。こども家庭庁児童虐待防止対策部会委員ほか。



### 松下 大介 (社会福祉法人愛隣会 児童養護施設 目黒若葉寮)

神奈川県小田原市出身。明治大学文学部心理社会学科、明治大学大学院文学研究科臨床人間学専攻臨床心理学専修。公認心理師、臨床心理士。社会福祉法人愛隣会 児童養護施設 目黒若葉寮にて心理職として勤務。「心理面接でなく、日常生活の中での心理ケアを行っています」



### 宇田川 里紗 (認定こども園園長/養育家庭里親)

国立音楽大学音楽学部音楽教育学科幼児教育専攻 卒業。  
保育経験24年(幼稚園教諭、保育士)、養育家庭里親4年、ショートステイ協力家庭、こども家庭ソーシャルワーカー。法人代表として以下の施設を運営。  
認定こども園：2施設 企業主導型保育所：1施設 学童クラブ：1施設



司会

### 上別府 圭子 (子どもと家族のQOL研究センター代表理事)

元臨床心理士、看護師、保健師、元東京大学教授。2020年法人設立、2022年より国際医療福祉大学大学院家族看護学領域教授。著書に、『虐待を防ぐ保健師訪問』(監修, 杏林書院, 2017) ほか。

## 参加登録

- 対 象 : 臨床心理士・公認心理師・保健師・助産師・看護師、保育士、教員、医師、ソーシャルワーカー、児童養護施設の職員、児童福祉司、児童心理司、学童保育指導員、里親、子育て支援に関わる方、学生
- 定 員 : 100名(先着順)
- 登録期間 : 2025年4月1日(火)～4月23日(水) 17時(予約制)
- 登録方法 : 右記QRコードからお申込みの上、参加費をお振込みください
- 参加費 : 一般 2,000円/学生・大学院生 1,000円(返金不可)

参加費振込先 : 三菱UFJ銀行 本郷支店 普通預金 0309933

一般社団法人子どもと家族のQOL研究センター 代表理事 上別府圭子

※申込みおよび参加費の振込をもって参加登録とさせていただきます

※万が一、キャンセルなさる場合は、かならずご一報ください

※ご寄付も歓迎します。虐待予防の啓発事業に活用させていただきます

※登録確認後、4月25日(金) 19時頃にZoom用URLをお知らせします

